

Palácio Nacional da Ajuda

について



写真: José Manuel

アジュダ宮 (Palácio Nacional da Ajuda)

アジュダ宮は、19世紀前半に建てられた新古典主義の宮殿です。ルイス1世 (1838 - 1889) が王となり、イタリアのサヴォイアのマリア・ピア王女 (1847 - 1911) と結婚してから、ポルトガル王家の住まいとなりました。

19世紀の王家の住まいとして典型的な建物であり、装飾美術品 (金銀器、絵画、彫刻、家具、タペストリー、ガラス製品、陶磁器など) の重要なコレクションが展示されています。

この宮殿は1910年のポルトガル共和制成立後、一時閉鎖されていましたが、1938年に美術館として再度一般公開されるようになりました。現在は、大統領の関わる重要な式典の一部がここで取り行われています。

問い合わせ先

Largo da Ajuda 1349-021 Lisboa

電話 : +351 21 363 70 95

ファックス : +351 21 364 82 23

Eメール: geral@pnajuda.dgpc.pt

ウェブサイト : <http://www.palacioajuda.pt/>

バリアフリー案内

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。